

4°C

holdings group

## 株式会社4°Cホールディングス 第74期株主通信

(2023年3月1日から2024年2月29日まで)

## 株主の皆様へ

～すべては、お客様の“笑顔”や“ときめき”のために～

当社グループは、すべてのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
増田 英紀

## 2024年2月期の総括

2024年2月期(2023年3月1日～2024年2月29日)の連結業績は、売上高は394億57百万円(前期比0.1%減)、営業利益は20億96百万円(前期比5.9%増)、経常利益は25億15百万円(前期比7.4%増)、当期純利益は13億円(前期比13.2%増)と、営業利益、経常利益は2期連続の増益となりました。ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、プライダル専門店の店舗集約による事業構造改革を推し進めたことにより、減収ながら増益となりました。アパレル事業では、(株)アーजूが展開するデイリーファッション「パレット」の既存店が伸長したことに加え、関東地区を含む10店舗の新規出店により100店舗展開を達成、売上高が大きく伸長しました。アスティグループは、円安や原材料価格高騰の影響を受ける厳しい環境にありましたが、海外生産基盤の強みにより主力取引先からの受注が拡大し、売上高、利益ともに好調に推移しました。

## 第7次中期経営計画がスタート

第6次中期経営計画期間の3カ年はコロナ禍を受けて経営環境が大きく変化しました。主力のジュエリー事業では、行動範囲が制限されたことでプライダルやギフト需要が大幅に低下しました。そのような環境下において、旗艦店である銀座本店の大型改装、匿名宝飾店による体験イベント、ECサイトのフルリニューアルに取り組み、ファッション性、体験価値といった、今

後につながる提供価値を確認することができました。

第7次中期経営計画では、女性からの支持を更に高めるべく、商品・販売促進戦略を大きく見直します。そして、『ファッションジュエリーの再構築』、『百貨店・ECチャネルの拡充』、『顧客化の深耕・OMO戦略の推進』に取り組みます。

「4°C」ブランドがグループの最大の財産であることを再認識し、事業領域の拡大も視野に、ジュエリー事業のセグメント名称をブランド事業へと変更しました。「100年ブランド」に向けたこれからの50年の提供価値づくりを推進し、第8次中期経営計画以降の成長フェーズへつなげていきます。

## 2030ビジョン 資本収益性向上に向けて

当社グループは、事業戦略の推進による利益成長と資本政策による資本収益性の向上に向けて2030ビジョンを設定しております。2030ビジョン最終年度までにROE8%以上を達成することを目標とし、積極的な投資による成長と資本収益率の向上に取り組んでまいります。成長戦略ではブランド事業を中心とした飛躍的な利益成長を目指します。また、資本効率向上では配当や自己株式取得による総還元性向の水準向上に努めてまいります。

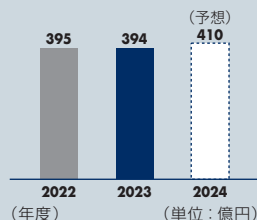
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 2024年2月期連結業績と配当

## 売上高

39,457百万円

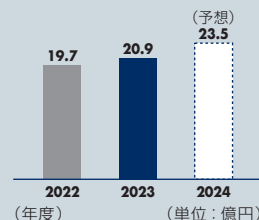
(前期比△0.1%)



## 営業利益

2,096百万円

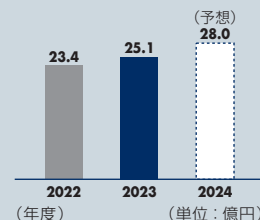
(前期比+5.9%)



## 経常利益

2,515百万円

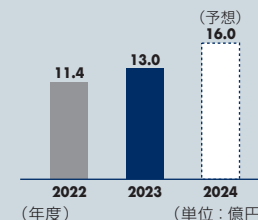
(前期比+7.4%)



## 当期純利益

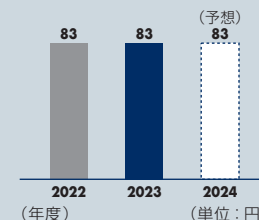
1,300百万円

(前期比+13.2%)



## 1株当たり配当金

83円



## 2024年2月期(2023年3月~2024年2月)セグメント情報

### セグメント情報

■ ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、事業構造改革を推進しました。ブライダル店舗を集約したことで収益性が改善しました。ファッションジュエリーでは女性客の拡大、ECの拡大、顧客化の推進に取り組んでまいりました。その結果、減収となったものの増益となりました。

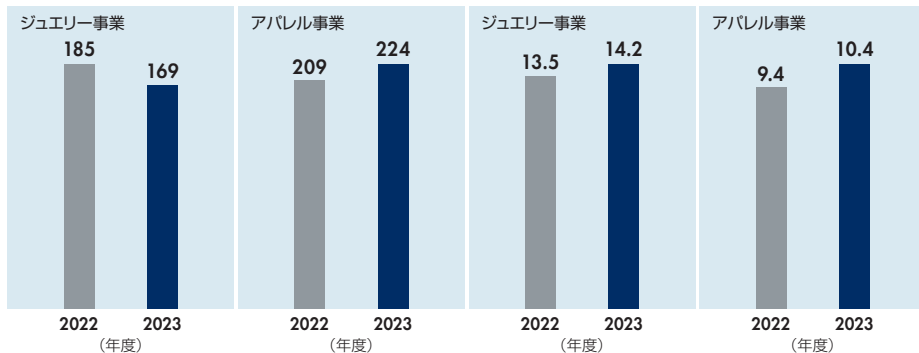
■ デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アーヂュは、既存店が前期を上回ったことに加え、出店効果もあり、売上高の拡大が進みました。アスティグループは、強みである海外生産基盤を背景に、主力取引先との取り組みが拡大し、売上高・利益ともに伸長しました。

セグメント別業績	売上高(単位:百万円)			セグメント利益(単位:百万円)		
	2023年2月期	2024年2月期	前期比(%)	2023年2月期	2024年2月期	前期比(%)
ジュエリー事業	18,587	16,995	△8.6	1,356	1,426	+5.1
アパレル事業	20,921	22,462	+7.4	942	1,046	+11.1

注1:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2:外部顧客に対する売上高を表示しています。

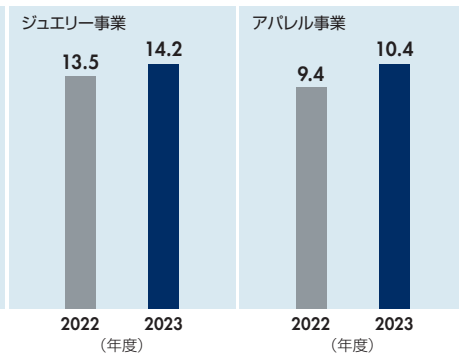
### セグメント別売上高

(単位:億円)



### セグメント別営業利益

(単位:億円)

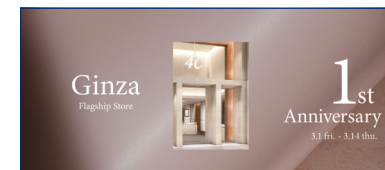


## トピックス

### 「4℃」銀座本店 グランドオープン1周年

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

3月1日(金)~3月14日(木)の期間、「4℃」銀座本店ではグランドオープン1周年を記念して、「1st Anniversary Fair」を開催しました。期間中は「4℃」「RUGIADA」のアーカイブ作品の展示等、さまざまなイベントを実施しました。特別な体験ができるフラッグシップストアとして、今後もたくさんの企画をご用意してまいります。お近くにお越しの際は、ぜひご来店ください。



「4℃」銀座本店「1st Anniversary Fair」

### 『匿名宝飾店』PRアワードグランプリ2023 シルバー賞 受賞

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

毎年優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ2023」において、「4℃」のブランド名を明かさずに行った体験型ジュエリーショップ『匿名宝飾店』の取り組みが、数多くのエントリー作品の中から「シルバー賞」に選ばれました。今後も「4℃」ブランドが輝き続けるために、体験を通じてブランド価値を伝える取り組みを継続してまいります。



「PRアワードグランプリ2023」表彰式

### 「パレット」新店舗オープン

#### 株式会社アーヂュ

デイリーファッション「パレット」は、3月20日(水)に兵庫県神戸市に東急プラザ新長田店、3月27日(水)に大阪府大阪市にイズミヤSC淡路店をオープンしました。これにより「パレット」は101店舗の店舗展開となります。「パレット」は今期も引き続き出店を継続していくとともに、暮らしを、ファッションを楽しみたいお客様のために、いつも楽しい商品とサービスを提供し続けてまいります。



「パレット」東急プラザ新長田店

# Challenge for Future 未来への挑戦 ~2030年に向けて~

『環境変化への対応』を前提に『顧客提供価値』を追求し、将来の飛躍に向けた成長基盤を構築していきます。

## 第7次中期経営計画の策定に向けて

【ジュエリー事業 第6次中期経営計画の取り組みにより得られた気づき】

ファッション性

体験価値

高価格帯

ロイヤルカスタマー

女性客拡大に向けた事業戦略の実行

1.ファッション性の向上  
マーチャンダイジングの刷新

2.顧客化の推進  
顧客属性の細分化による提案力の向上

3.チャネル戦略  
百貨店の高価格帯への対応強化  
路面店の旗艦店づくり(大阪、横浜)

ジュエリー事業⇒ブランド事業へ  
新たな事業領域の拡大

## ブランド事業

女性客の支持拡大に向けた商品・販促戦略の見直しによる基盤づくり

「100年ブランド」に向けたこれからの50年の提供価値づくり

＜事業戦略の推進＞

- 1.ファッションジュエリーの再構築(商品構成・MDの刷新)
- 2.百貨店・ECチャネルの拡充
- 3.顧客化の深耕・OMO戦略の推進

第8次中期経営計画以降の成長フェーズにつなげる  
4Cブランドの新しい提供価値の基盤をつくる

## グループ連結数値ビジョン(2027年2月期目標)

第7次中計最終年度 第77期(2027/2)計画 増加率 第6次中計最終年度 第74期(2024/2)実績比較	売上高 <b>450億円</b> +14.0%	営業利益 <b>31億円</b> +47.8%
経常利益 <b>36億円</b> +43.1%	当期純利益 <b>20.5億円</b> +57.6%	のれん償却前ROE <b>6.4%</b> 1.7ポイント改善

## 2030ビジョン ROE8%以上達成に向けて

飛躍的な利益成長、資本政策の実行によってROE8%以上を目指す

### 利益の向上(営業利益)

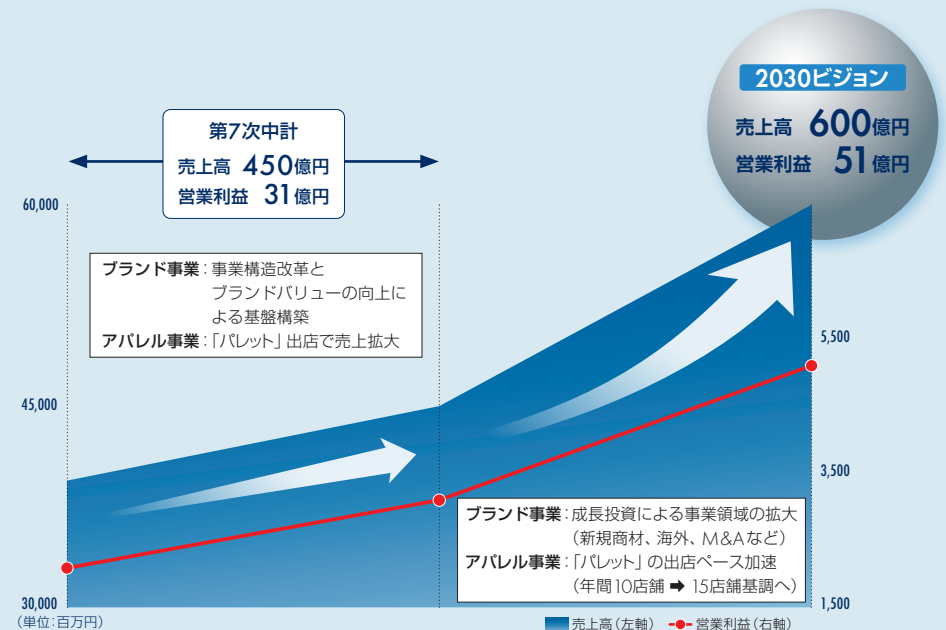
ブランド事業を中心とした利益成長で  
営業利益51億円を目指す  
(2031年2月期時点)

### 資本政策の実行

総還元性向の水準向上により  
自己資本350億円を目指す  
(2027年2月期時点)

## 2030ビジョン 連結業績の数値ビジョン

第7次中期経営計画の3カ年にて基盤を構築  
その後の成長投資により飛躍的な利益成長を目指す



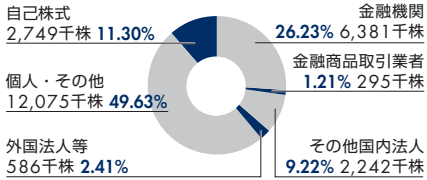
## ■ 株主情報

### 株式情報 (2024年2月29日現在)

発行済株式総数	24,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	31,465名

### 株式分布状況 (2024年2月29日現在)

#### ■ 所有者別株式分布

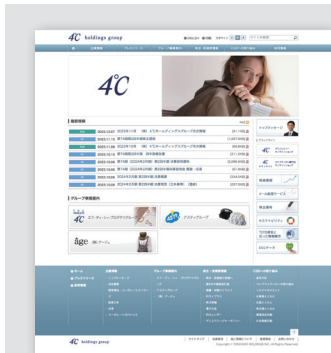
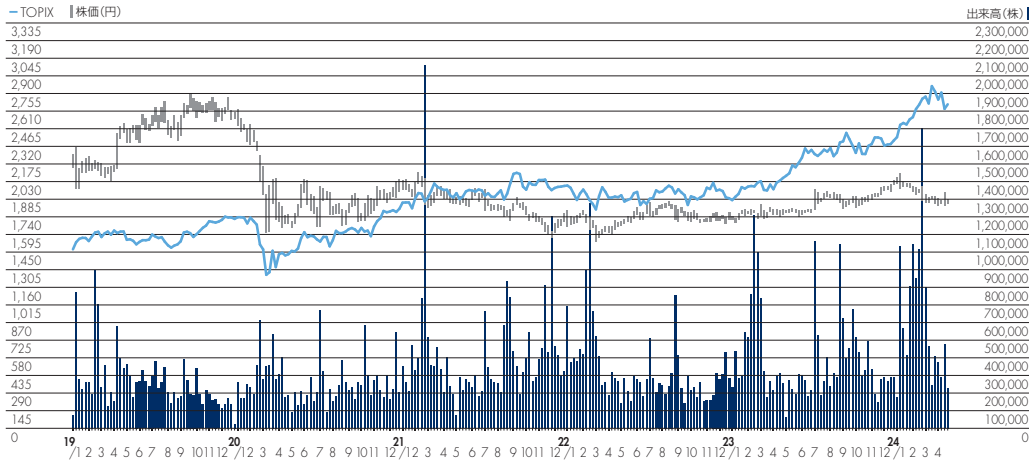


### 大株主 (2024年2月29日現在)

株主名	持株数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,542	7.15
第一生命保険株式会社	1,078	5.00
株式会社広島銀行	1,069	4.96
4°Cホールディングスグループ共栄会	796	3.69
株式会社伊予銀行	739	3.43
尾山嗣雄	405	1.88
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	352	1.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	351	1.63
株式会社三井住友銀行	350	1.62
住川志満子	340	1.58

注: 上記のほか当社所有の自己株式2,749千株があります。

## 株価推移



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <https://yondoshi.co.jp/>

IRお問い合わせ先 TEL: 03-5719-3295

経営企画室 E-mail: [ir-yondoshi@yondoshi.co.jp](mailto:ir-yondoshi@yondoshi.co.jp)

#### コーポレートガバナンス・ガイドラインについて

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方や取り組みを体系化したものを「コーポレートガバナンス・ガイドライン」としてまとめ、コーポレートサイトへ掲載しております。当社グループは、健全で透明性の高い企業グループとして社会の信頼と責任に応えてまいります。

URL <https://yondoshi.co.jp/company/governance/>

## ■ 会社概要 (2024年2月29日現在)

社名	株式会社4°Cホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするジュエリー事業*、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業及び小売事業
連結子会社	7社

\*2025年2月期より「ジュエリー事業」→「ブランド事業」へ名称変更

## ■ 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法)当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) <a href="https://yondoshi.co.jp/">https://yondoshi.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	8008

## ■ 株式事務のお問い合わせ

### 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター

お問い合わせ先

**0120-232-711** オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項は、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。